

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	上尾市立大谷西保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	野村 佳代	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒 362-0082 埼玉県上尾市壺丁目東22-1	Tel	048-725-1200

③評価実施期間

令和 6 年 5 月 30 日(契約日)～令和 7 年 3 月 13 日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○行事やクッキング活動の取り組みは、子どもの意見や要望が反映された保育が展開されるように工夫している。
 行事の取り組みでは、例えば「夏まつりがあるけどどうする？」と問いかけることから始め、子どもたちからは「よさこいソーランをやりたい」や「お店屋さんで、かき氷を売りたい」などの意見を出し合い、子どもたちのしたい・やりたい気持ちを大事にしながら内容を決めている。また、クッキング活動では、チェルシートーストのトッピングを自分でするなど、子どもの意見を反映した取り組みになるようにしている。保育者は、子どもが自分の気持ちを相手に伝えられるように関わったり、子どもたちの小さなつづやきも見逃さず、一人ひとりの子どもの思いを受け止めることを心がけた保育が展開されるように工夫している。

○毎週開催の週案会議では、保育の計画とともにクラス運営や保護者のことなどを話し合い情報共有の場になっている。

週案会議では、次週の活動の計画を報告し合い、活動内容を共有できる場になっている。また、クラス運営での悩みや子どもの事例を出し合ったり、保護者の意見に対して、様々な角度から意見を出し合い、保護者の思いや解釈の違いに気づき、改めてコミュニケーションを取る機会になったり、延長保育の職員にも、子どもの体調を丁寧に引きつぐことを確認するなど、週案会議が有効に機能し、話し合いや情報共有の場になっている。職員からの意見でも、職員間の連携や協力、情報の共有の良さを評価する声が多数聞かれている。

○複合施設の中の保育所として地域との交流や地域貢献に意欲的に取り組んでいる。

併設されている児童発達支援相談センター、就学前の子どもの療育・保育を行うつくし学園とは年間交流計画を作成し、計画的また日常的に関わりをもち交流保育を行っている。保育所の保護者から好評を得ている。また、同センター及び子育て支援センターの地域交流事業にも協力し「保育所であそぼう」「園庭開放」等地域の方と触れ合う場を設け、複合施設の交流の場に参画し、保育所として育児電話相談を随時受け付け、災害時にも地域の方が安心して保育を行えるよう備品を備えるなど地域貢献にも取り組んでいる。

◇特にコメントを要する点

○子どもが自分から遊びを選択することができるために、玩具の並べ方やコーナーの配置など、保育室の環境づくりの工夫を期待したい。

・保育室内は広い空間を確保するために、コーナーや絵本棚は壁際に並べ、危険を伴う箇所には職員手作りのパーティションで囲っており、玩具はカゴや段ボール箱などに収納されている。子どもが好きな玩具を自由に選んで遊ぶことができるように、広い保育室内のコーナーや絵本棚や空間の使い方の検討とともに、年齢に合った玩具の数や種類や収納の工夫、手に取って遊びたいような玩具や絵本の見せ方など、子どもが主体的に遊ぶことができる環境づくりを職員の話し合いを通して、遊びがさらに充実していくことを期待したい。

○保育所の2階スペースには、図書のコーナーが2か所あるので、本の活用を通して、本に親しむことができるように展示の工夫や貸し出し方法の検討を期待したい。

保育所には、絵本の棚を5つ並べたコーナーが2階に2か所あり、また、2～3か月ごとに、図書館で選定された本が30冊ほど届く仕組みもあり、子どもたちが絵本を手にすることができる環境が整っている。保育所では絵本をもっと活用したいと考え、絵本の貸し出しを今年度から始め、3歳児から5歳児の貸し出し日を決め、借りたら翌日には返す取り組みを始めている。コーナーの絵本は背表紙を見せて収納しているので、おすすめの絵本は表紙を見せて展示したり、クラスで読んで子どもたちが興味をもった絵本を見えるように置くなどの工夫や、職員が小さいとき読んでもらったり、わが子に読んだ絵本を紹介したり、保護者から募集するなど、絵本を身近に感じることができる紹介方法の検討とともに、貸出し期間が1泊なので、親子でゆっくり読むことができる期間の検討も期待したい。

○園が目指す将来像の実現のため、保育所としての総合的な事業計画の策定に期待したい。

当保育所は保育指針を基に「全体的な計画」を作成し、年間指導計画、年間保健計画、食育計画等を作成しているが、現状では園独自の事業計画は策定されていない。このため、市の基本目標を踏まえ、園の目指す将来像を実現するための組織・運営面及び保育面、地域面の具体的な取り組みを含めた保育所の発展に資する総合的な事業計画の策定が期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

開設2年目の保育所として、様々な会議を行いながら、職員間の連携を情報共有を大切にしてきました。複合施設として、交流保育も日常的に行っていますが、今後も話し合いを持ちながら、よりよいものへとなるように継続して行っていきたいと思えます。日頃から、子どもたちが自由にあそべるような環境作りを考えていましたが、今回の第三者評価を通して、空間の使い方や、保育環境について、改めて、職員で話し合いながら、改善に努めていきたいと思えます。また、安全計画、業務継続計画は、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に基づき、今後に対応してまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり